

職業学科を設置している知的障がい特別支援学校に 普通科が設置されていることをご存知ですか？

背景

保護者等の皆様から

- 知的障がい特別支援学級で学んできた国語や数学の内容をさらに深めた学習をしたい
- 高等部卒業後、専門学校などの進学も含め、いろいろな経験を通して、好きなことに取り組める可能性を探りたい など

平成28年度から随時、各圏域に普通科を設置

道央圏:札幌あいの里高等支援学校 道南圏:函館高等支援学校 道北圏:旭川高等支援学校
オホーツク圏:紋別高等養護学校 十勝圏:中札内高等養護学校 釧根圏:釧路鶴野支援学校

国語や数学など、知的障がいのある生徒のための教科の学習を行いながら、就業体験、ボランティア活動などの経験もとおして幅広い知識や技能を身に付け、職業自立・社会自立を目指しています。

普通科Q&A

Q 出願資格は、職業学科と違うのですか？

A 出願資格は職業学科と同じです。㊦療育手帳を持っている。㊦知的障がい特別支援学級に在籍している。㊦医師の診断がある。のいずれか1つを満たしている場合、出願することができます。

Q 普通科ではどのようなことを大切に指導していますか？

A 生徒が「学び方や考え方」を学べるよう指導しており、地域社会、家庭生活等、様々な場面で対応できる課題解決能力の育成を目指しています。

Q 「教科の学習」とありますが、高等学校の教科の内容を学ぶのですか？

A 高等学校の教科の内容とは異なります。例えば、国語では社会で必要とされる言葉を理解したり、適切に使ったりするなど、生活に結び付いた内容を学習します。

Q 職業学科との違いは何ですか？

A 普通科では「作業学習」の時間を設定していません。そのため、教科学習の時間が多いことが特徴です。「職業」の時間やインターンシップ等の活動を通じて就労に向けた学習を行っています。

Q 職業学科の生徒と同じように一般就労に向け、在学中に企業等で実習を行うことは可能ですか？

A 実習を行うことは可能です。実習先や期間などを含め、学級担任や進路担当の先生と相談しながら進めていきます。

Q 普通科を卒業した場合は、高等学校を卒業した場合と同じですか？

A 高等学校とは学ぶ内容や卒業認定の方法が異なります。そのため、高等学校卒業ではなく、特別支援学校高等部の課程を修了（卒業）したことになります。

Q 卒業後、専門学校等を受験することは可能ですか？

A 受験することは可能です。例年、知的障がい特別支援学校から専門学校等に進学する生徒が若干名います。進学に関わっては、学級担任と相談しながら進めていきます。

Q 専門学校に進学した場合、どのくらい費用がかかりますか？

A 一概には言えませんが、ある私立の専門学校では入学金、授業料、施設費等で100万円程度かかります。その他に交通費や寮費など個別に必要な費用がかかります。

Q 専門学校以外に進学先はありますか？

A 職業能力開発校や職業能力開発センターに進学している生徒がいます。訓練期間は1年間が多い状況です。授業料はかかりませんが、教材費、交通費など個別に必要な費用がかかります。

十勝圏

北海道中札内高等養護学校

寄宿舎：有

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒089-1345 河西郡中札内村東5条南1丁目8番地
☐ 問合せ先 TEL 0155-68-3266
 FAX 0155-67-2077
 E-mail nakakoyo@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.nakasatsunaikoutouyoubu.hokkaido-c.ed.jp>



○ 普通科第1学年の時間割

	月	火	水	木	金
1	体力づくり	体力づくり	美術	体力づくり	体力づくり
2	国語	職業	美術	数学	職業
3	職業	職業	社会	家庭/情報 /外国語	職業
4	職業	職業	理科	家庭/情報 /外国語	職業
5	職業	音楽	生徒会	保健体育	LHR
6	職業	音楽		保健体育	

普通科では、自己選択や自己決定することを大切にしています。「振り返り」と「気付き」を繰り返し、自己理解を深めながら卒業後の「働く生活」を目指します。

また、普通科の時間割は職業学科の時間割にはない社会、理科、外国語、情報、家庭、職業の時間を設定しています。

週10時間設定してる職業では、様々な作業種や機械、道具を使いながら幅広い職業体験を行い、卒業後の「働く生活」に必要な知識や技能を身に付けています。

○ 特徴的な教育活動①

普通科では、自己選択と自己決定することを学びの重点にしています。

「振り返り」と「気付き」を繰り返す中で、自分自身を深く知り、どのように物事に組み込めばよいかを主体的に考えられるよう学習を計画しています。



職業：近隣農場でのダンボール作り



職業：コインランドリーの清掃

○ 特徴的な教育活動②

普通科の時間割は職業の時間を多く設定しています。

職業は、基礎実習（外注作業中心）や選択実習（職業学科で行う実習）、職業実習（校外の事業所で行う実習）の3種類の実習を設定し、自己選択による幅広い職業体験を行っています。



理科：トマト（農業科の苗）の生育観察



家庭：理科で栽培した野菜を使った調理学習

Aさん

普通科では、いろいろな作業を経験できることと自分で選択できるところが自分に合っていると思います。

Bさん

教科別の学習が自分には合っていると思います。

生徒の声

普通科に入学してから、自分の力に合った仕事について考え始めるようになりました。

保護者の声